



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東
 コード番号 8159 URL <https://www.tachibana.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山尚伸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門担当 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	57,753	19.9	2,194	117.5	2,633	145.6	1,899	162.9
2026年3月期第1四半期	48,157	△6.9	1,008	△26.7	1,072	△47.5	722	△46.3

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 5,580百万円(276.6%) 2026年3月期第1四半期 1,481百万円(△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	86.43	—
2026年3月期第1四半期	31.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	181,075	109,457	60.4
2026年3月期	179,303	104,975	58.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 109,457百万円 2026年3月期 104,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	60.00	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	255,000	12.1	9,500	26.5	9,900	8.6	7,000	△5.7	318.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	25,025,242株	2026年3月期	25,025,242株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,048,463株	2026年3月期	3,048,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	21,976,781株	2026年3月期1Q	22,924,485株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格の上昇や、需要低迷が続く中国市場の動きなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社企業グループが関係する業界におきましては、市場における在庫調整の動きが概ね収束し、半導体メモリーの需要が拡大し、価格が上昇するなど半導体関連が大きく回復しました。また、データセンターやAI関連施設等をけん引役に設備投資需要の高まりがみられ、OT/IT領域を横断する一貫したソリューションの提供とハード面の提案を進めております。海外では、成長著しいインドでの拡販に向けて、サプライヤーや協力会社との関係を構築し、営業基盤固めを着実に実行しております。

このような状況にあつて当社企業グループは、2027年3月期から2031年3月期までの5年間を期間とする中長期経営計画「G I C 3 0」を定めました。本計画期間において、グローバルに変革を進め、D Xの活用をもって商社版生産性を高め、1人当たりの売上・利益を向上させ売上高3,000億円、営業利益120億円を目指します。また、戦略テーマの単位で投資判断を見極め、規律ある投資を実行することで、得られた成果を成長への再投資、人財投資、株主還元へと結び付け、成長サイクルの循環を続けるGlobal Innovation Companyを目指して取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高577億53百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益21億94百万円（前年同期比117.5%増）、経常利益26億33百万円（前年同期比145.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益18億99百万円（前年同期比162.9%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

〔F A システム事業〕

売上高：263億39百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益：8億70百万円（前年同期比9.8%増）

F A システム事業では、長期化した顧客の在庫調整が概ね収束し、主力機器製品のプログラマブルコントローラ、インバータ、A C サーボが大きく伸長しました。また、注力するシステムソリューションビジネスでは引き合い案件が増加し、売上を大きく伸ばしました。産業デバイスコンポーネント分野では、公共案件向けにコンピュータ周辺機器の販売が伸長するとともに、子会社において半導体製造装置関連向けを中心に接続機器が好調に推移しました。一方、産業機械分野では、レーザー加工機や自動化設備の案件が少なく減少しましたが、鉄鋼プラント向け重電分野は堅調に推移し売上に貢献しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比11.8%増加いたしました。

〔半導体デバイス事業〕

売上高：254億6百万円（前年同期比33.9%増）、営業利益：12億62百万円（前年同期比1,373.4%増）

半導体分野では、世界的な需要逼迫による製品価格の上昇を受け、メモリーが大幅に伸長しました。また、調達力を活かした安定供給を継続したことで、旺盛な顧客ニーズの取り込みが進みました。電子デバイス分野では、商流拡大に伴う販売数量の増加によりコネクタが大幅に伸長するとともに、S S D も製品価格の高騰により大きく伸長しました。

なお、前年同期に営業利益減少の要因となっていた、同事業における在庫の適正化が一巡し、正常化したことで、過去の水準並みに収益性が回復しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比33.9%増加し、売上高と営業利益は第1四半期として過去最高を更新いたしました。

〔施設事業〕

売上高：45億87百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益：79百万円（前年同期比6.9%減）

施設事業では、酷暑に加え今後予定されている冷媒関連規制への対応を見据えた買い替え需要によって、ルームエアコンの販売が好調に推移しました。また、大型の中央監視設備が売上に大きく貢献しました。一方、L E D 照明が供給不足の影響から減少するとともに、受配電設備についても当該期間の案件が少なく減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比16.0%増加いたしました。

〔その他〕

売上高：14億19百万円（前年同期比14.8%減）、営業損失：18百万円（前年同期は44百万円の利益）

MMS（金属加工製造受託）分野では、主力の立体駐車場向けの部材は案件が少なく減少しました。EMS（電子機器製造受託）分野では、家電向け基板ビジネスは堅調な推移となりました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比14.8%減少いたしました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて17億71百万円増加の1,810億75百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券の増加53億70百万円、棚卸資産の増加34億79百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少51億81百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて27億10百万円減少の716億17百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少30億97百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて44億81百万円増加の1,094億57百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加36億23百万円、利益剰余金の増加8億円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結通期業績予想につきましては、2026年5月12日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年8月5日）公表の「2027年3月期通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,792	23,000
受取手形、売掛金及び契約資産	68,932	63,750
有価証券	1,394	693
棚卸資産	31,890	35,369
その他	4,669	5,228
貸倒引当金	△63	△61
流動資産合計	131,616	127,981
固定資産		
有形固定資産	5,343	5,318
無形固定資産	1,814	1,907
投資その他の資産		
投資有価証券	36,216	41,587
退職給付に係る資産	2,940	2,930
その他	1,448	1,427
貸倒引当金	△76	△76
投資その他の資産合計	40,528	45,868
固定資産合計	47,686	53,093
資産合計	179,303	181,075
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,069	43,972
短期借入金	8,815	10,136
未払法人税等	2,345	852
賞与引当金	1,382	750
その他	5,141	4,834
流動負債合計	64,754	60,547
固定負債		
長期借入金	660	645
長期末払法人税等	15	15
退職給付に係る負債	715	719
その他	8,182	9,690
固定負債合計	9,573	11,070
負債合計	74,327	71,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,146	6,146
利益剰余金	80,891	81,692
自己株式	△8,687	△8,687
株主資本合計	84,225	85,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,492	20,115
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	3,057	3,156
退職給付に係る調整累計額	1,200	1,158
その他の包括利益累計額合計	20,750	24,431
純資産合計	104,975	109,457
負債純資産合計	179,303	181,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	48,157	57,753
売上原価	42,093	50,004
売上総利益	6,064	7,748
販売費及び一般管理費	5,055	5,554
営業利益	1,008	2,194
営業外収益		
受取利息	58	43
受取配当金	256	267
為替差益	—	99
その他	42	71
営業外収益合計	357	482
営業外費用		
支払利息	27	28
為替差損	247	—
その他	18	15
営業外費用合計	294	43
経常利益	1,072	2,633
税金等調整前四半期純利益	1,072	2,633
法人税等	349	733
四半期純利益	722	1,899
親会社株主に帰属する四半期純利益	722	1,899

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	722	1,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,359	3,623
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△573	99
退職給付に係る調整額	△26	△41
その他の包括利益合計	759	3,681
四半期包括利益	1,481	5,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,481	5,580
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	135百万円	187百万円

(セグメント情報等の注記)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム事 業	半導体デバイ ス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	22,826	11,277	3,953	38,057	1,466	39,524	—	39,524
アジア他	738	7,694	—	8,433	200	8,633	—	8,633
顧客との契約から 生じる収益	23,564	18,972	3,953	46,491	1,666	48,157	—	48,157
外部顧客への売上高	23,564	18,972	3,953	46,491	1,666	48,157	—	48,157
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	23,564	18,972	3,953	46,491	1,666	48,157	—	48,157
セグメント利益(営業利益)	792	85	85	964	44	1,008	—	1,008

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム事 業	半導体デバイ ス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	25,558	15,807	4,587	45,953	1,179	47,132	—	47,132
アジア他	781	9,599	—	10,381	240	10,621	—	10,621
顧客との契約から 生じる収益	26,339	25,406	4,587	56,334	1,419	57,753	—	57,753
外部顧客への売上高	26,339	25,406	4,587	56,334	1,419	57,753	—	57,753
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	26,339	25,406	4,587	56,334	1,419	57,753	—	57,753
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	870	1,262	79	2,212	△18	2,194	—	2,194

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。